

九建日報

発行所

株式会社 九建日報社
〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19
電話 代表 092(431)5361 番
FAX 092(431)7613 番
購読料 1ヵ月 6,300円

北九州支局 TEL093(921)5011
佐賀支局 TEL0952(34)5540
長崎支局 TEL095(827)5595
熊本支局 TEL096(363)1553
大分支局 TEL097(543)5234
宮崎支局 TEL0985(24)6688
鹿児島支局 TEL099(259)3426
<http://www.kyuukennippou.co.jp>

『環境土木工法』更なる普及

新素材 F W G 透・保水性舗装

見学会 ミラクルソル協会が開催

【佐賀】ミラクルソル協 見学会 ミラクルソル協会が「F W G 透・保水性舗装工法」は17日、

の現場見学会「写真」を開催した。

同工法は、ガラス廃材を再資源化したミラクルソルの吸水性・保水性に優れているという特徴を活かし、舗装工の路床や路盤に用いて保水機能を持たせ、路面温度の上昇を抑制するもので、ヒートアイランド現象や温暖化現象を緩和する環境土木工法として提案している。

見学会には佐賀県、唐津市などの職員、コンサルタント業者、建設業者ら約80人が参加。現場見学会に先立ち、ミラクルソル工法の説明会を日本建設技術（唐津市）で開催し、原理事長は

「21世紀は環境の時代で、廃棄物のリサイクルによる再資源化で循環型社会を構築する必要がある。ミラクルソルはガラス廃材を再資源化したもので、環境がクローズアップされる時代に適した新素材。現在、環境緑化、環境土木、水環境の分野で様々な工法を提案しており、更なる普及を図っていききたい」と述べ、ミラクルソルの研究・開発の経緯や特徴、工法などを詳しく解説した。

説明会のあと、参加者は玄海町の「国道204号道路保全（舗装補修）工事（施工・岸本組）」の施工現場に移動し、ミラクルソルの布設状況を見学した。

現場では、日本建設技術の牛原裕司氏が「通常のアスファルト舗装は路床の上の路盤を砕石で固めてアスファルトを敷設するが、F W G 透・保水性舗装工法で

は砕石のかわりにミラクルソル（10〜50mm）を使用し、路床にも2mmアンダーのミラクルソルを用いている。また、毛管現象を発現させるためにアスファルトの空隙に2mmアンダーのミラクルソルを敷き詰め、ミラクルソルが蓄積した水分の蒸発時に気化熱で路面温度の上昇を抑制する」と施工方法などを説明し、質問に応えた。

同工法の透水性インターロッキングを使用したケースでは、最大8℃の温度抑制効果が実証されているが、アスファルト舗装での施工は初めて。

現場では通常の透水性舗装とミラクルソルを10cm、20cm布設した3タイプを施工し、約1年間にわたって路面の温度を測定し、その効果を検証することにして

